

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国連人口基金 (UNFPA) 拠出金			
種 別		イヤーマーク <u>ノン・イヤーマーク</u> (注) 我が国からの拠出には双方を含む。			
【拠出先の国際機関名】国連人口基金 (UNFPA)					
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 家族計画を含むセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) 分野は持続可能な開発目標 (SDGs) の目標の一つであり、人口開発はSDGsの保健課題達成において重要。UNFPAは母子保健、リプロダクティブ・ヘルス、家族計画に関する情報やサービスの提供等において最大の国連機関。UNFPAとの協力を通じ、途上国の女性が安全に家族を設ける環境を整備する。これにより、我が国が重視する女性が輝く社会の実現や保健課題の解決に貢献し、人間の安全保障の実現及びSDGsの達成を目指すとともに、国際社会の責任ある主要な国家として、国際社会の平和と安定及び繁栄のため、一層積極的な役割を果たす。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成27年度	3,936,987	35,791	-	1米ドル= 110円	100
平成26年度	3,551,746	36,616	-	1米ドル= 97円	100
平成25年度	2,772,434	33,810	-	1米ドル= 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 1 人口政策は、途上国が持続的な開発を達成する上で不可欠であるとともに、世界の人口動態が変化（高齢化）する中で、我が国のアジェンダとしての高齢化医療・UHCを推進する上でも重要。 2 リプロダクティブ・ヘルス：性・文化・宗教等に密接に関わり、二国間援助のみでは効果的な実施が困難な分野であり、長年に亘り、当該分野で活動を積み重ね、現地で知見と信頼を得ているUNFPAと協力を行う方がより効果的。 3 女性：UNFPAは災害時等における女性支援にも積極的に実施。UHCの実現において重要な妊産婦へのヘルスサポートにおいて、UNFPAの果たす役割は大きい。 4 日本は、UNFPAの最高意思決定機関である執行理事会の議席を、2007-2021年中3年間（2009年、2014年、2019年）を除いて確保。2015年は同執行理事会の副議長（先進国ドナーグループのとりまとめ）を務めるなど、我が国の発言力・影響力を確保した。					